

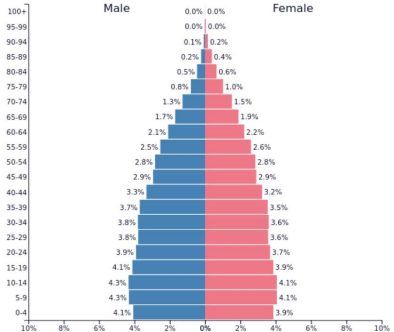


1. 国概要		出典	
正式名	フィリピン共和国	①	
国旗	位置図		
		①	
面積	298,170平方キロメートル(日本の約0.8倍)。7,641の島々がある。	①	
首都	マニラ	①	
人口	<p>約1億1,273万人(2024年フィリピン国勢調査(5年に1回))</p> 	① ② ③	
民族	マレー系が主体。ほかに中国系、スペイン系及び少数民族がいる。	①	
公用語	国語はフィリピン語、公用語はフィリピン語及び英語。180以上の言語がある。	①	
宗教	キリスト教国で、国民の83%がカトリック、その他のキリスト教が10%。イスラム教は5%(ミンダナオではイスラム教徒が人口の2割以上)。	①	
通貨(為替レート)	1ペソ(PHP) = 約2.7円(報告省令レート(2025年4月分))	④	
略史	14~15世紀	イスラム教が伝わり、フィリピンで初のイスラム王国であるスルー王国誕生	①
	1521年	マゼランのフィリピン到着	
	1571年	スペインの統治開始	
	1898年	米西戦争。6月12日、アギナルド将軍がスペインからの独立を宣言 12月10日、米西パリ講和条約調印。米国の統治開始	
	1899年	第一共和政開始。アギナルド初代大統領就任 米比戦争(~1901年)	
	1902年	米領フィリピン諸島政府発足	
	1935年	独立準備政府(コモンウェルス)発足	
	1942年	日本軍政開始	
	1946年	7月4日、フィリピン共和国独立	
	1956年	7月23日、日比賠償協定発効により国交回復	
	1965年	マルコス第10代大統領就任	
	1972年	戒厳令布告	
	1986年	エドサ(ピープル・パワー)革命によりアキノ第11代大統領就任、マルコス大統領退陣	
	1992年	ラモス第12代大統領就任	
1998年	エストラーダ第13代大統領就任		
2001年	アロヨ第14代大統領就任		

略史	2010年	アキノ第15代大統領就任	①
	2016年	ドゥテルテ第16代大統領就任	
	2022年	マルコス第17代大統領就任	
政治			
政体	共和制、大統領制		①
元首	フェルディナンド・ロムアルデス・マルコス・ジュニア大統領		①
議会	上・下二院制 上院24議席(任期6年、連続三選禁止) 下院311議席(任期3年、連続四選禁止)		①
政府	大統領: フェルディナンド・ロムアルデス・マルコス・ジュニア 副大統領: サラ・ドゥテルテ 外務大臣: マリア・テレサ・ラザロ		①
地方自治制度	<div style="text-align: center;"> </div> <p>・フィリピンにおける地方自治体の単位(Local Government Units)は、基本的には、州(Province)、市(City)及び町(Municipality)、バランガイ(Barangay)の4層構造から成っており、その行政単位は、全土16の行政区(Region)、マニラ首都圏(俗称Metro Manila)及び1つの自治区(Autonomous Region)の18の地方に分けられる。</p>		③ ⑤
経済			
主要産業	ビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)産業を含むサービス業(GDPの約6割)、鉱工業(GDPの約3割)、農林水産業(GDPの約1割)(2021年)		①
実質経済成長率(%)	<div style="text-align: center;"> </div>		⑥

物価上昇率(%)	<p>物価上昇率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>物価上昇率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2019</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>2020</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>2021</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>5.8</td> </tr> <tr> <td>2023</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>2024</td> <td>3.2</td> </tr> </tbody> </table>	年	物価上昇率 (%)	2019	2.5	2020	2.4	2021	3.9	2022	5.8	2023	6.0	2024	3.2	⑥							
年	物価上昇率 (%)																						
2019	2.5																						
2020	2.4																						
2021	3.9																						
2022	5.8																						
2023	6.0																						
2024	3.2																						
一人当たり名目GDP (USD)	<p>一人当たり名目GDP</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>一人当たり名目GDP (USD)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2019</td> <td>3,512</td> </tr> <tr> <td>2020</td> <td>3,620</td> </tr> <tr> <td>2021</td> <td>3,576</td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>3,645</td> </tr> <tr> <td>2023</td> <td>3,905</td> </tr> <tr> <td>2024</td> <td>4,079</td> </tr> </tbody> </table>	年	一人当たり名目GDP (USD)	2019	3,512	2020	3,620	2021	3,576	2022	3,645	2023	3,905	2024	4,079	⑥							
年	一人当たり名目GDP (USD)																						
2019	3,512																						
2020	3,620																						
2021	3,576																						
2022	3,645																						
2023	3,905																						
2024	4,079																						
失業率(%)	<p>失業率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>失業率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2019</td> <td>5.1</td> </tr> <tr> <td>2020</td> <td>10.4</td> </tr> <tr> <td>2021</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>5.4</td> </tr> <tr> <td>2023</td> <td>4.4</td> </tr> <tr> <td>2024</td> <td>3.8</td> </tr> </tbody> </table>	年	失業率 (%)	2019	5.1	2020	10.4	2021	8.0	2022	5.4	2023	4.4	2024	3.8	⑥							
年	失業率 (%)																						
2019	5.1																						
2020	10.4																						
2021	8.0																						
2022	5.4																						
2023	4.4																						
2024	3.8																						
総貿易額 (100万USD)	<p>総貿易額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>輸出額 (100万USD)</th> <th>輸入額 (100万USD)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2019</td> <td>70,334</td> <td>107,375</td> </tr> <tr> <td>2020</td> <td>63,879</td> <td>85,687</td> </tr> <tr> <td>2021</td> <td>74,569</td> <td>117,308</td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>78,930</td> <td>137,977</td> </tr> <tr> <td>2023</td> <td>72,923</td> <td>126,106</td> </tr> <tr> <td>2024</td> <td>72,984</td> <td>127,382</td> </tr> </tbody> </table>	年	輸出額 (100万USD)	輸入額 (100万USD)	2019	70,334	107,375	2020	63,879	85,687	2021	74,569	117,308	2022	78,930	137,977	2023	72,923	126,106	2024	72,984	127,382	⑥
年	輸出額 (100万USD)	輸入額 (100万USD)																					
2019	70,334	107,375																					
2020	63,879	85,687																					
2021	74,569	117,308																					
2022	78,930	137,977																					
2023	72,923	126,106																					
2024	72,984	127,382																					
貿易品目	<p>(1) 輸出: 電気機器・同部品、一般機械・輸送機器等</p> <p>(2) 輸入: 鉱物性燃料・鉱物油、輸送機器、電気機器・同部品</p>	①																					
主要貿易相手国	<p>(1) 輸出: 米国(16.6%)、日本(14.1%)、香港(13.1%)、中国(12.9%)(2024年)</p> <p>(2) 輸入: 中国(25.8%)、インドネシア(8.3%)、日本(7.9%)、韓国(7.6%)(2024年)</p>	①																					

2.日本とのかかわり		出典																					
大使館	マニラ	⑦																					
大使	遠藤和也(2024年3月～)	⑦																					
進出企業数	1,630社(2024年10月時点)	①																					
日本企業の投資額	287億ペソ(2024年)	⑥																					
在留邦人数	13,342人(2025年10月現在)	①																					
在日留学生数	2,535人(2024年5月現在)	⑧																					
観光																							
訪日旅行者数(人)	<p style="text-align: center;"><b>訪日旅行者数</b></p> <table border="1"> <caption>訪日旅行者数 (人)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>訪日旅行者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2019</td><td>613,114</td></tr> <tr><td>2020</td><td>109,110</td></tr> <tr><td>2021</td><td>5,625</td></tr> <tr><td>2022</td><td>126,842</td></tr> <tr><td>2022</td><td>126,842</td></tr> <tr><td>2023</td><td>622,293</td></tr> <tr><td>2024</td><td>818,659</td></tr> <tr><td>2025</td><td>885,100</td></tr> </tbody> </table>	年	訪日旅行者数(人)	2019	613,114	2020	109,110	2021	5,625	2022	126,842	2022	126,842	2023	622,293	2024	818,659	2025	885,100	⑨			
年	訪日旅行者数(人)																						
2019	613,114																						
2020	109,110																						
2021	5,625																						
2022	126,842																						
2022	126,842																						
2023	622,293																						
2024	818,659																						
2025	885,100																						
旅行形態	団体(10.8%) 個人(89.2%) (2024年)	⑩																					
貿易																							
日本との貿易 (100万USD)	<p style="text-align: center;"><b>総貿易額</b></p> <table border="1"> <caption>日本との貿易 (100万USD)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>日本の輸出</th> <th>日本の輸入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2019</td><td>10,653</td><td>10,608</td></tr> <tr><td>2020</td><td>9,353</td><td>8,805</td></tr> <tr><td>2021</td><td>11,087</td><td>10,848</td></tr> <tr><td>2022</td><td>12,149</td><td>10,885</td></tr> <tr><td>2023</td><td>10,464</td><td>10,128</td></tr> <tr><td>2024</td><td>9,973</td><td>9,472</td></tr> </tbody> </table>	年	日本の輸出	日本の輸入	2019	10,653	10,608	2020	9,353	8,805	2021	11,087	10,848	2022	12,149	10,885	2023	10,464	10,128	2024	9,973	9,472	⑥
年	日本の輸出	日本の輸入																					
2019	10,653	10,608																					
2020	9,353	8,805																					
2021	11,087	10,848																					
2022	12,149	10,885																					
2023	10,464	10,128																					
2024	9,973	9,472																					
日本の主要輸出入品目	(1)輸出 電気機器、一般機械、車両・同部品、鉄鋼、プラスチック・同製品 (2)輸入 電気機器、木材・同製品、果実、一般機械、ニッケル・同製品	⑥																					

3.自治体の活動				出典
自治体交流				
姉妹自治体	県名	自治体名称	提携自治体名	州・省・県等名
	北海道	稚内市	バギオ市	バンゲット州
	青森県	五戸町	バヨンボン町	ヌエバ・ピスカヤ州
	岩手県	富古市	ラ・トリニダッド市	バンゲット州
	山形県	鮭川村	カウイット	
	山形県	戸沢村	ジェネラルトリアス	
	群馬県	高崎市	モンテンルバ市	
	埼玉県	羽生市	バギオ市	バンゲット州
	千葉県	千葉市	ケソン市	
	千葉県	銚子市	レガスビー市	アルバイ州
	神奈川県	横浜市	マニラ市	ルソン州
	長野県	南牧村	ラ・トリニダッド町	バンゲット州
	静岡県	磐田市	ダグバン市	パンガシナン州
	京都府	南丹市	マニラ市	ルソン州
	大阪府	高槻市	マニラ市	ルソン州
	広島県	福山市	タクロバン市	レイテ州
	香川県	丸亀市	バシッグ市	
	高知県	高知県	バンゲット州	バンゲット州
	茨城県	境町	マリキナ市	マニラ都市圏
	茨城県	桜川市	バコール市	カウイテ州
	兵庫県	神河町	ディゴス市	南ダバオ州
大阪府	泉南市	ダバオ市		
茨城県	つくばみらい市	カルカル市	セブ州	
茨城県	行方市	ダナオ市	セブ州	
長野県	南牧村	プギアス町	バンゲット州	
長野県	南牧村	ツプライ町	バンゲット州	
北海道	本木内町	マンダウエ市	セブ州	
JET参加者の数 (2025年7月1日現在)	370人	ALT 363人 CIR 7人 SEA 0人	累計 1,839人(2025年7月現在の参加者含む)	
JETAA支部	フィリピン支部			
クリア関連事業	<p>●専門家派遣事業</p> <p>2023年1月 フィリピン・ヌエバピスカヤ州の OTOP 運動とブランド戦略</p> <p>2022年2月 災害対応におけるリスク評価及び管理に係る専門家をバギオ市に派遣</p> <p>2019年12月 奈良県OGから観光に係る専門家をリブホ市に派遣</p> <p>2018年12月 千葉県から景観・日本庭園に係る専門家をバギオ市へ派遣</p> <p>2018年3月 奈良県から文化財保全に係る専門家をピガン市に派遣</p> <p>●地方行政セミナー(総務省)</p> <p>2023年3月 「コロナ禍における災害対策及び地域活性化」</p> <p>2015年5月 「観光振興を通じた地域経済の活性化」をメインテーマとし、マニラで開催</p> <p>●LGAセミナー</p> <p>2024年10月 「日本とフィリピンの自治体における姉妹都市交流について」をテーマとし、マニラからオンライン参加(当初バンゲット州で参加予定であったが、台風の影響により急遽マニラから参加することとなった)。</p> <p>2024年3月 「地方自治体における経済発展のための取り組みについて」をテーマとし、オンラインで開催</p> <p>2020年10月 「より良い地方自治のための防災と災害管理」「地域経済を復興させる観光政策」をテーマとし、オンラインで開催</p> <p>2018年1月 「住民主体の観光促進と開発の在り方を考える」をテーマとし、レイテ州タクロバンで開催</p> <p>2016年7月 「強靱で持続可能な地域活性化に向けた自治体交流」をテーマとし、マニラ市で開催</p> <p>●大学セミナー</p> <p>2025年10月 フィリピン大学にて、所長補佐が派遣元自治体の政策等のプレゼンを実施</p> <p>2024年10月 フィリピン大学にて、所長補佐が派遣元自治体の政策等のプレゼンを実施</p> <p>2023年9月 フィリピン大学にて、所長補佐が派遣元自治体の政策等のプレゼンを実施</p> <p>2022年10月 フィリピン大学にて、所長補佐が派遣元自治体の政策等のプレゼンを実施</p> <p>2018年11月 フィリピン大学にて、所長補佐が派遣元自治体の政策等のプレゼンを実施</p>			
国際会議	<p>EROPA会議事務局</p> <p>設置場所: マニラ(フィリピン)</p> <p>事務総長: アレックス・ペロ・プリランテス・ジュニア(2021年～)</p>			

4.その他渡航情報		出典
入出国	30日以内の滞在であればビザは不要。	
旅券の残存期間	日本国籍保持者は、残存期間が6ヶ月未満であっても入国可能。	
日本との時差	-1時間	
祝日(2026年)	1月1日(木) 新年 2月17日(火) 中国旧正月 3月20日(金) イスラム教断食明け大祭(※) 4月2日(木) 聖木曜日 4月3日(金) 聖金曜日 4月4日(土) 聖土曜日 4月9日(木) 勇者の日 5月1日(金) メーデー 5月27日(水) イスラム教犠牲祭(※) 6月12日(金) 独立記念日 8月21日(金) ニノイアキノ記念日 8月31日(月) 英雄の日 11月1日(日) 諸聖人の日 11月2日(月) 万霊節 11月30日(月) ボニファシオ記念日 12月8日(火) 無原罪の聖マリアの祝日 12月24日(木) クリスマスイブ 12月25日(金) クリスマス 12月30日(水) リサール記念日 12月31日(木) 大晦日 (※)イスラム休日予定日。直前に確定。	⑥
予防接種の必要性	推奨予防接種(A型肝炎、B型肝炎、破傷風、ポリオ、腸チフス、狂犬病、日本脳炎)	⑪
気候	熱帯モンスーン型気候	①、⑫
電話の掛け方	国際電話会社の番号+63(国番号)+電話番号	⑫
電力	電圧は220V、60ヘルツ コンセントは日本と同じAタイプがほとんど。まれにB3、C、Oタイプも見られる。 100-240Vに対応していない電気製品を使うためには変圧器が必要	⑫
飲用水	水道水は避ける。ミネラルウォーターを飲用した方がよい。	①
日本からのフライト時間	直行便で4時間30分程度	

【出典】

- ①外務省HP <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/philippines/index.html>
- ②PopulationPyramid.netHP <https://www.populationpyramid.net/>
- ③PHILIPPINES STATISTICS AUTHORITY <https://psa.gov.ph/>
- ④日本銀行HP [https://www.boj.or.jp/about/services/tame/tame\\_rate/syorei/index.htm/](https://www.boj.or.jp/about/services/tame/tame_rate/syorei/index.htm/)
- ⑤Department of the interior and local government <https://dilg.gov.ph/facts-and-figures/Regional-and-Provincial-Summary-Number-of-Provinces-Cities-Municipalities-and-Barangays/32>
- ⑥JETRO HP [https://www.jetro.go.jp/world/asia/ph/basic\\_01.html](https://www.jetro.go.jp/world/asia/ph/basic_01.html)
- ⑦在フィリピン日本国大使館HP [https://www.ph.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.ph.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)
- ⑧日本学生支援機構 [https://www.studyinjapan.go.jp/ja/\\_mt/2023/03/date2022z.pdf](https://www.studyinjapan.go.jp/ja/_mt/2023/03/date2022z.pdf)
- ⑨JNTO HP [https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/since2003\\_visitor\\_arrivals.pdf](https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/since2003_visitor_arrivals.pdf)
- ⑩JNTO HP(訪日旅行データハンドブック) <https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/datahandbook.html>
- ⑪厚生労働省検疫所 HP <https://www.forth.go.jp/destinations/country/philippines.html>
- ⑫フィリピン政府観光省 HP <https://philippinetravel.jp/>